

国語科学習指導略案(第3学年悠々・洋々組 男子2名)

令和元年9月25日(水) 4限

授業者:川尾裕美

- 1 単元名:万葉・古今・新古今
- 2 単元:古典
- 3 本時のねらい:『和歌を読み味わうことを通して、それぞれの和歌が詠まれた背景や作者の心情を考え、和歌の世界に親しむことができる。』
- 4 準備物:教科書・ワークシート・CD・CDデッキ
- 5 本時の学習過程(第3時/全5時間)

生徒の学習活動及び発問・予想される生徒の反応	・留意点 ○評価【観点】(方法) ※手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの歌集の特徴を確認する。 ・音声CDの朗読を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書(P128)を見て、前時までの授業の内容を確認しながら、本時の活動を説明する。
<p>めあて:和歌のリズムに注意して繰り返し声に出して、読んでみる。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・実際に自分のリズムで読んでみる。 ・使われている表現技法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・五・七・五・七・七の定型のリズムに注意させる。また句切れにも注意させる。 ※現代語訳が書かれたプリントを見ながら、意味や心情を捉えさせていく。 ※和歌が詠まれた背景を補足することで、より理解を深めさせる。
<p>山場:なるほど、この和歌にはこんな心情が込められているのか。こんな背景が詠まれているのか。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・自分が捉えた心情を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の生徒の発表を参考にさせる。
<p><めあての評価> 和歌のリズムに注意して音読している</p>	
<p><ねらいの評価> 作品が詠まれた背景や作者の心情について考えたことを音読に生かそうとしている。</p>	
<p><振り返り・まとめ> 本時で学んだ和歌で、一番印象に残ったものを選んでおく。</p>	